

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

1 発生抑制・再使用

担当係 総務係・廃棄物対策係・資源循環推進係

(1) 循環型社会の構築に向けた教育の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 学校と連携し、環境教育の動機づけとして市内小学校17校の4年生に対して「ごみ減量・リサイクル標語」コンクールを4～5月に実施した。

年度	28年度	29年度	30年度
人数	906	887	945

- ②、⑥ 環境教育の動機付けを目的とする学校を対象とした環境センターの施設見学のほか、各種団体を対象とした施設見学を積極的に受け入れており、ごみ処理への関心を深めてもらうことに努めている。なお、不法投棄による環境問題に関する説明は、見学時間の都合などで未実施となる。

年度	28年度	29年度	30年度
人数	894	1,083	943

平成30年度は、DVDの内容を一部見直し、「ペットボトルの分別について」の説明を追加した。

- ③、④ 広報ちとせ（美々ちゃんのごみひとくちメモ）及び市ホームページ等で循環型社会の構築に係る情報について発信したほか、町内会回覧として次の文書を配布した。

年度	文書名	配布数
28年度	使用済み小型家電の回収のご協力をお願いします。	2,644枚
29年度	使用済み小型家電の回収にご協力をお願いします/都市鉱山からつくる！みんなのマルブプロジェクト/ペットボトルの分別について	2,587枚 2,380枚
30年度	ペットボトルの分別について/使用済み小型家電の回収にご協力をお願いします	2,585枚

また、ホームページや広報ちとせ等により、ごみ処理の状況、排出方法などの情報を提供するとともに、出前講座を活用し、情報の提供・共有に努めた。

- ⑤、⑦ 毎年4月に「クリーンシティちとせ」を全戸配布している。

また、「ごみ分別の手引き」を転入者等に対して市民課や環境課の窓口で配布するなど適正な分別及び排出方法の周知に努めた。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

1 発生抑制・再使用

担当係 廃棄物対策係

(2) 家庭ごみの有料収集

○現状（これまでの取組状況について）

- 平成18年5月から家庭ごみの有料化により、ごみの発生抑制及び分別排出の徹底を促進している。
- 適正な処理費用の確保に当たり、安定したごみ袋の供給や保管配送システムの維持に努めている。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

1 発生抑制・再使用

担当係 廃棄物対策係・資源循環推進係

(3) 生ごみの堆肥化・減量化の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 教育機関等への学習機会の提供……希望のあった小学校に「段ボール箱堆肥化セット」を配布

年度	28年度	29年度	30年度
学校名	千歳第二小学校 東小学校	支笏湖小学校	北陽小学校 <small>（親子教室の出前講座で21セット配布）</small>

- ② 小学校に配布している「こども環境白書」において「生ごみの堆肥化」の説明を記載した。
- ③ 事業者及び一般廃棄物収集運搬許可業者に「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布し、事業ごみの減量化対策の普及を図った。
- ④ 堆肥化推進の周知…… リサイクルフェスティバル及びちとせ消費者まつりにおいて、「段ボール箱堆肥化セット」の配布及び「電動生ごみ処理機等」の購入費助成制度の周知等を行った。
- ⑤、⑥ 生ごみ減量の普及啓発…… 買い過ぎ、作り過ぎを減らし、残った調理くずは水切りを徹底するなどの周知をホームページ及び千歳市家庭ごみ減量7エリアごみ分別辞典で行った。「食品ロス」の取組としては、年末年始の時期に市内インターネットにて、「市が主催する宴会における食品ロス削減の取組への協力について」及び「外出時のおいしい食べ切り全国キャンペーン」の協力依頼の周知を行うとともに、自衛隊三部隊および商工会議所を訪問し、千歳市の食品ロス削減に係る上記取組について説明し、取組への協力依頼を行った。

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
段ボール箱生ごみ堆肥セット配布	127セット	89セット	126セット	201セット	191セット
コンポスト等購入費助成	39台	30台	64台	83台	42台
電動生ごみ処理機購入費助成	9台	9台	8台	8台	9台

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

1 発生抑制・再使用

担当係 資源循環推進係

(4) ノーレジ袋運動の支援

○現状（これまでの取組状況について）

○ 平成20年度から市内7店舗6社、千歳消費者協会及び千歳市の3者で締結した協定に基づき、千歳消費者協会とともに協定した店舗前で10月（3R推進月間）に啓発用ポケットティッシュ、マイバッグの配布を行った。

年度	28年度	29年度	30年度
啓発用ポケットティッシュ	376個	635個	563個
マイバッグ	119個	117個	42個

※ 配布先：ビッグハウス、イオン北海道、ホクレンショップ、コープさっぽろ、豊月（フードD）、北雄ラッキー

1 発生抑制・再使用

担当係 資源循環推進係

(5) エコ商店認証制度の取組

○現状（これまでの取組状況について）

○ 千歳市エコ商店認証制度実施要綱に基づき、ごみの減量化・再資源化に取り組んでいる小売店等に対して直接訪問し、エコ商店の新規・継続認証の依頼又は取消し（閉店による。）を行っている。

年度	前年度合計	新規	取消し(閉店)	当年度合計
28年度	93店	3店	3店	93店
29年度	93店	3店	1店	95店
30年度	95店	5店	6店	94店

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

1 発生抑制・再使用

担当係 資源循環推進係

(6) 再使用の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 広報ちとせ、市のホームページを通じ3Rの推進について市民に周知した。
- ② 平成18年から千歳市役所食堂において洗い箸を利用している。

1 発生抑制・再使用

担当係 資源循環推進係

(7) 大型ごみの再使用の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- （公財）ちとせ環境と緑の財団が主催し、市が共催する8月の「リサイクルフェスティバル」において大型ごみで持ち込まれたたんす等を格安で市民に提供するとともに、廃棄された自転車を修理し、抽選で市民に無料で提供している。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(1) 再生利用品の使用の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- 広報ちとせ、市のホームページにおいて3R推進を周知した。
- イベント時に使用済みペットボトルを再生したボールペンの進呈、使用済みペットボトルを再生利用したペットボトルの展示などを実施した。

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(2) リサイクル品目の拡大の検討

○現状（これまでの取組状況について）

- 容器包装リサイクル法における再商品化の対象である「その他紙製容器包装」（紙箱、紙袋、包装紙など）の多くは、燃やせるごみとして排出されているが、平成30年度から町内会等における集団資源回収の品目拡大が行われ、「雑がみ」の回収が新設された。
また、「鉄くず」について、台所用品以外の金属も対象とした品目拡大を行っている。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(3) 資源回収拠点の拡大

○現状（これまでの取組状況について）

- 「使用済み小型家電」については、各コミュニティセンター、総合福祉センター、東部支所、支笏湖支所の14か所の拠点回収に加えて、環境センターへの直接搬入を実施している。

年度	28年度	29年度	30年度
回収量（t）	48.6	56.8	59.1

○ 再生事業者が設置している資源回収店舗

店舗名	開始年月	営業時間	設置場所
くりりんステーション	平成23年11月～	9:00～16:00	クリーン開発敷地内
リサイクルステーション	平成25年12月～	9:30～20:00	ホームック富士店敷地内
じゅんかんコンビニ24	平成27年7月～	24時間	北陽・みどり台

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(4) 集団資源回収システムの継続

○現状（これまでの取組状況について）

- （公財）ちとせ環境と緑の財団が実施主体となり、平成24年10月から「奨励金方式」による集団資源回収を実施している。

- 集団資源回収事業に係る経費は、市が補助金を支出している。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(5) リサイクル取組団体等への支援

○現状（これまでの取組状況について）

- 割り箸・古衣料・家庭用廃食用油（植物油）、ペットボトルのキャップは、市民団体等がコミュニティセンター等で回収を行っている。
市では、回収場所の提供や、「クリーンシティちとせ」などで取組の周知を行っている。

2 再生利用

担当係 資源循環推進係

(6) 資源の適正分別の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- 平成23年10月から分別収集が開始されたプラスチック製容器包装については、（公財）容器包装リサイクル協会に引き渡すルートを通じ、再商品化等を実施している。
- リサイクルフェスティバル及びちとせ消費者まつりにおいて、ペットボトルの分別について、分別体験を実施し、適正分別の推進に向けた啓発を図った。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

3 熱回収

担当係 _____ 施設係 _____

(1) 廃熱利用の継続

○現状（これまでの取組状況について）

平成14年から、焼却処理施設で発生した蒸気について、隣接する下水道汚泥処理施設（スラッジセンター）へ安定した熱供給を実施している。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

4 適正処理

担当係 廃棄物対策係

(1) ごみ搬入時の指導強化

○現状（これまでの取組状況について）

ア 搬入時の指導強化

- ① 計量所及び破砕処理施設において、ごみの品目・内容物の確認を行い、不適物の持ち帰りを指示したり、適正排出の指導を行っている。
- ②、③ 「事業系廃棄物減量マニュアル」を作成し、直接ごみを搬入する事業者、収集運搬者又は収集運搬業者が直接契約している排出事業者に対して配布し、分別排出の啓発を行っている。

イ マニフェストの適正運用の促進

- ・ 市に搬入された産業廃棄物について、マニフェスト内の重要記載事項の内容、排出禁止物の混載、産業廃棄物収集運搬業に係る許可の有無などを確認した上、必要に応じて指導している。

4 適正処理

担当係 廃棄物対策係

(2) 適切なごみ処理システムの推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① プラスチック製容器包装廃棄物は、平成23年10月から分別収集を開始し、リサイクルを実施している。なお、収集方法としては、家庭ごみと同様に効率的なステーション収集を実施している。
また、不適正排出などの防止については清掃指導員、適正ごみ処理推進員によるパトロールにより、適正な排出に関する啓発を実施している。
- ② 大型ごみは、月1回収集日の2日前までに申込みを受け、個別収集により実施している。
- ③ 大型ごみ収集の際、自ら自宅前まで搬出することが困難な高齢者や体の不自由な方に対する支援体制として、住居内から排出する「ふれあい収集」を行い、排出を支援している。
- ④ 収集地区を5から6ブロックに変更（H21～H25）したほか、4種資源物については、車両の人員を3名から2名に、大型ごみ収集は、車両を3台から2台に見直して効率化及び経費の削減を図っており、平成26年度から30年度の契約期間においても継続している。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

4 適正処理

担当係 _____ 施設係 _____

(3) 安全で効率的な施設運営の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 平成24年度から焼却処理施設・破砕処理施設・最終処分場・リサイクルセンター・計量所の施設運転管理を一括して民間委託し、安全かつ効率的な施設の維持管理を行っている。
- ② 大気・水質の測定結果は、ホームページ上で公開しており、月に1回のペースで更新している。
- ③ 地球温暖化対策の推進に関する法律など地球温暖化対策関連の法律に基づき、各処理施設における節電対策など、温室ガス排出量削減を図っている。

4 適正処理

担当係 _____ 総務係 _____

(4) ごみ処理の広域化

○現状（これまでの取組状況について）

平成28年度

- ・焼却施設の建設費及び維持管理費に係る関係市町の負担割合について決定した。

焼却施設建設に要する経費	関係市町割 50%	ごみ処理量割 50%
焼却施設維持管理費	関係市町割 30%	ごみ処理量割 70%

- ・地権者及び地域住民の同意のもと、建設候補地の「千歳市根志越」を予定地とした。

平成29年度

- ・焼却施設の基本設計等各種調査を実施した。

平成30年度

- ・焼却施設建設用地を取得した。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

4 適正処理

担当係 総務係

(5) 千歳市災害廃棄物処理計画の取組

○現状（これまでの取組状況について）

- 千歳市災害廃棄物処理計画については、平成28年5月に策定済み。
- 広報活動については、北海道などの関係機関に配布するとともに、市ホームページに掲載して市民周知を図った。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

4 適正処理

担当係 廃棄物対策係

(6) ごみステーションの適正管理

○現状（これまでの取組状況について）

ア ごみステーションの管理

- ① ごみステーション施設等に関する要領に基づき、適正なごみステーションの管理を要請するとともに、収集運搬業務委託業者及び適正ごみ処理推進委員との連携により、適正排出の指導を実施している。
- ② 平成18年度から適正ごみ処理推進員制度を運用しており、市と連携して適正排出の周知・啓発を実施している。

イ 集合住宅の廃棄物保管所の設置要請

- ・ 排出状況の良くないごみステーションの多くは、周辺に共同住宅が多いことから、専用ごみボックスの対象となっていない5戸以下の共同住宅及び平成5年以前に建設された共同住宅について専用ごみボックスの設置を要請している。

4 適正処理

担当係 廃棄物対策係

(7) 不法投棄への対応強化

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 適正ごみ処理推進員によるパトロールの実施のほか、市と連携して適正排出の周知・指導を実施した。
- ② 転入者に対しては、クリーンシティちとせを市民課窓口で配布し周知を図った。
- ③ 不法投棄の多い地域には、不法投棄防止啓発看板や啓発のぼりを重点的に設置して啓発しているほか、不法投棄の調査により投棄者の特定に努め、警察へ通報するなど不法投棄に対して厳しく対処した。
- ④ 不法投棄は犯罪であり、厳しい罰則があることを、広報ちとせ・ホームページ及び全戸配布しているクリーンシティちとせ等に掲載するなど啓発を行った。
- ⑤ 不法投棄を発見した場合は、警察や市建設部道路管理課及び都市整備課などの関係部署と連携し、不法投棄の抑制を図った。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

5 事業ごみ及び産業廃棄物の対策

担当係 廃棄物対策係

(1) 事業ごみ及び産業廃棄物の発生抑制・再使用

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 広報誌・ホームページ等により、3Rに関する情報を提供した。
- ② 減量化・再資源化の動機付け及び排出者責任の明確化を目的として、事業系一般廃棄物の処理手数料及び産業廃棄物の処分費用の5年ごとの見直しを行った。
- ③ 事業ごみの発生抑制と再利用に関する意識啓発と実践を目的に、事業者や一般廃棄物収集運搬業許可業者等に「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布し、事業者責務の周知や発生抑制・再使用・再資源化に関する取組事例等の情報提供を行った。
- ④ 事業ごみの多量排出事業者を訪問し、処理手数料の変更に併せ発生抑制の指導を行った。
- ⑤ 事業ごみの多量排出事業者に対して、廃棄物減量計画の提出要請を検討している。

5 事業ごみ及び産業廃棄物の対策

担当係 廃棄物対策係

(2) 事業ごみ及び産業廃棄物の分別再資源化の推進

○現状（これまでの取組状況について）

- ① 事業ごみの分別再資源化を推進するため、排出事業者に再資源化事業者を紹介した「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布するとともに、ホームページなどを通じて分別再資源化の啓発を行った。
- ② 一般廃棄物収集運搬業許可業者に、「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布するなどして、資源の分別収集の重要性について理解を求めるとともに、排出事業者に対する助言を行うなど協力をお願いした。
- ③ 建設リサイクル法でリサイクルが義務付けられていない小規模な工事において、木材やコンクリートくず等の建設廃材のリサイクルが推進されるよう、排出者等に「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布するなど意識啓発を行った。
- ④ 再資源化が可能な事業ごみ及び産業廃棄物については、排出業者等に「事業系廃棄物減量マニュアル」を配布するなどして、民間処理施設による再資源化ルートを活用した再資源化を促した。

千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年3月改定）
循環型社会構築の施策進行管理

【循環型社会の構築のための施策に係る平成30年度における取組の総評】

平成30年度における、施策に掲げた「1. 発生抑制」、「2. 再生利用」、「3. 熱回収」、「4. 適正処理」、「5. 事業ごみ及び産業廃棄物の対策」に係る23項目の具体的な取組については、概ね順調に進捗しているものと把握している。

特に、集団資源回収については、「雑がみ」の品目新設、「鉄くず」の品目拡大が行われており、今後についても再生利用品の使用の促進に努めていく。

また、「ペットボトルの分別」について、ペットボトルを4種資源物で出すときにはラベルを剥がすことに変更となったことを受け、広報ちとせ、市ホームページ、町内会への文書配布及び施設見学时に上映するDVDの内容の見直しなど「ペットボトルの分別」方法の変更について、市民に対して多様な方法で情報を発信したほか、リサイクルフェスティバル及び消費者まつりにおいては、クイズ形式を取り入れた分別体験を行うなどしてペットボトルの分別に係る啓発を行った。あわせて、使用済み小型家電の回収に係るチラシの配布やパネル展示を行うなど、リサイクルの推進に積極的に取り組んだ。今後も積極的に情報発信していく。